

整理番号 2968240062  
発送番号 032340  
発送日 平成21年 1月27日

## 拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2003-043173
起案日	平成21年 1月19日
特許庁審査官	古川 哲也 9746 5C00
特許出願人代理人	中島 司朗 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

### 理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項1-3, 6-9

引用文献: 1, 2

備考:

引用文献1の段落【0016】、【0024】には、受信した放送データのストリーム中に取得すべきセクションデータが存在する場合に、該セクションデータを抽出して記憶する技術が記載されており、段落【0030】、【0033】には、ストリームから抽出して記憶すべきテーブルのバージョンが既に記憶されているテーブルのバージョンから更新されている場合に、バージョンが更新されたテーブルのデータをPID及びテーブル識別子により識別して抽出するデジタル放送受信装置の技術が記載されている。

また、引用文献2には、デジタル放送のトランスポートストリームにより伝送されるテーブルを受信装置で取得して記憶する技術が記載されており、特に段落【0011】～【0018】及び図1や、段落【0033】～【0037】及び図9、11には、各テーブルを階層的に配置し、下位のテーブルのバージョン番号を上位のテーブルに記述し、下位のテーブルのバージョン番号の変更を上位のテーブル自体のバージョン番号の変更によって知らせる技術が記載されている。

したがって、引用文献1に記載のデジタル放送受信装置において、引用文献2に記載の上記技術を用いることにより、請求項1, 7, 9に係る発明の構成とすることは、当業者が容易に想到し得ることである。また、該デジタル放送受信装置において処理されるデジタル放送データを送出するためのデジタル放送装置として、請求項6, 8に係る発明の構成とすることも、当業者が適宜選択してなし得ることである。

更に、請求項2, 3に関しても、引用文献1及び2に記載のものから当業者が容易に想到し得ることである。

<拒絶の理由を発見しない請求項>

請求項4, 5に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

### 引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平10-098508号公報
2. 特表2002-504786号公報

## 先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野   IPC   H04N7/16-7/173  
                      H04N5/44-5/46  
                      H04N7/24-7/68  
                      H04N7/00-7/088
- ・先行技術文献   特開平11-234633号公報  
                      特開2000-307968号公報  
                      特表2001-520491号公報  
                      特表2002-514865号公報  
                      特表2002-529970号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

-----  
この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせがございましたら、下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 映像機器           古川 哲也  
TEL. 03 (3581) 1101   内線3541